

高知県師範学校寮歌

一、その名も高き鷹城の
西にそびえて ところわに
浮世の塵を よそにして
純潔無垢の白菱の
あおき芝生に 咲きにおう
歴史も古し わが寮舎

四、炎天猛威を振う日も
星光霜に照る朝も
運動武術かにかくと
気をねり 体を養いて
完全 強靱 健康の
男子の勇姿 君見ずや

二、孕の海に 先覚の
覇を争いて かち得たる
月の桂のいさおしを
語り伝えて 今もなお
オールに鍛う 四百の
健児の腕 君見ずや

五、ふりさけみれば 天っ日は
寮舎の旗に 輝きぬ
三千年来 動きなき
国の礎 固むべき
重き務めをおうわれら
いざや励まん もろともに

三、教えの手綱 引きしぼり
心の駒に 鞭うちて
文の林の 奥深く
明智真仁大勇の
道一筋に 進みゆく
健児の意気を 君見ずや